AudioComm®

取扱説明書

録音機能付ラジオ

型番：RAD-F830Z-W/K
品番：07-8369/8370

このたびは、AudioComm® 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

⚠ 警 告 **電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	録音機能付ラジオ			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RAD-F830Z-W RAD-F830Z-K	品番	07-8369 07-8370	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	★お名前						様
	★ご住所　〒　　－						
				電話　　（　　）			
修理メモ							
販売店	★住所　店名　電話						㊞

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-8369/8370A

目 次

免責事項…… 1
著作権について …… 1
静電気に関するご注意 …… 1
安全上のご注意 ……2～4
　乾電池を安全にお使いいただくために …… 4
本機で使用できるmicroSDカードについて …… 4
各部の名称…… 5
乾電池の入れかた …… 5
音声出力について …… 5
電源のオン／オフとホールド機能 …… 6
モードの切換について …… 6
ラジオ放送を聴く …… 7
　自動メモリー登録 …… 8
　ダイレクト選局 …… 8
ラジオ放送を録音する …… 9
録音マイクを使って周囲の音声を録音する …… 10
microSDカード内のファイルを再生する… 11～12
　スキップ／サーチボタン(⏮／⏭)の操作 …… 12
　リピート再生 …… 12
ファイルを削除する …… 13
故障かなと思ったら …… 14
主な仕様…… 14
お手入れのしかた …… 裏表紙
保証書とアフターサービスについて …… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

著作権について

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

静電気に関するご注意

- ●空気が乾燥する時期にイヤホンを使うと、耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。
- ●動作・記録データなどに不具合が生じる場合があります。

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は「感電注意」が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は、「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。)

⚠警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	使用禁止	**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。

次ページへ続く

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

分解、修理、改造しない
●火災・感電の原因となります。

乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない
●火災や感電のおそれがあります。

車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
●交通事故の原因になります。
●歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
●落下による故障やけがの原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
●故障や破損の原因になることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない
●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

長時間、大音量で聴き続けない
●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニターなど）に近づけない
●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。

指定以外の乾電池は使用しない
●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を挿入するときは極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通り正しく入れる
●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
●火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池（マンガンとアルカリ）を混ぜて使わない	⚠ 注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

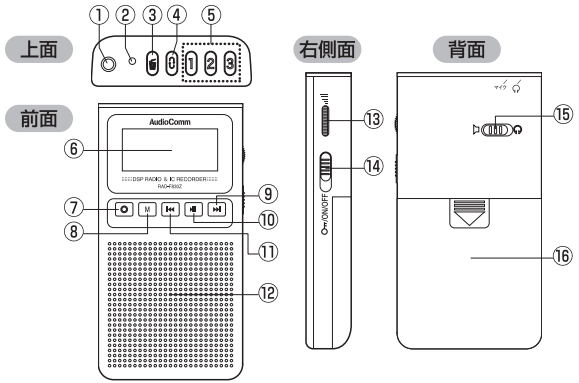
本機で使用できるmicroSDカードについて

本機ではmicroSDカード（別売）にラジオ放送や音声を録音したり、microSDカード内のファイルを再生することができます。

使用できるmicroSDカード	SDHC32GBまでのmicroSDカード（フォーマット：FAT）
読み取り可能なファイル／フォルダー数	最大9999ファイル/9999フォルダー（5階層まで確認済み）
読み取り可能なファイル形式	MP3
本機での録音ファイル形式 ※右記のファイル名はパソコン上でのみ確認でき、本機では確認できません。本機では001から始まる連番（3桁の数字）で表示されます。	MP3（再生ビットレート：8～320kbps） ●本機で録音するとmicroSDカード内に「RECORD0」フォルダーが作成され、その中に録音ファイルが保存されます。 ●ラジオを録音したファイル名は「RECXXXF.mp3」、マイクで録音したファイル名は「RECXXXM.mp3」となります（XXXはともに001から始まる連番）。
本機での録音可能ファイル数	ラジオ録音（RECXXXF.mp3）、マイク録音（RECXXXM.mp3）合計で最大999ファイル

ご注意
●microSDカード内に本機が対応していない形式のファイル（画像ファイル、テキストファイルなど）が混在していると、正しく認識されない場合があります。
●本機での録音ファイル数が上記制限を超えた場合、録音はできません。「RECORD0」フォルダーごと、パソコン上でフォルダー名を変更して保存し、microSDカード内のフォルダー及びファイルを削除してください。そうするとmicroSDカードを本機に装着後、再び「RECORD0」フォルダーが作成され、001から録音できるようになります。
●大切な録音ファイルは適宜パソコンなどにて保存し直すことをおすすめします。その際、ファイル名を分かりやすいように変更しておくと、上書きにより誤って消去してしまうおそれがありません。

各部の名称



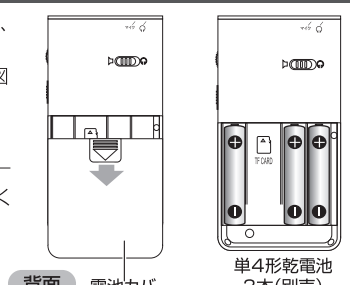
①イヤホン端子
②録音マイク
③削除ボタン
④リピートボタン
⑤ダイレクト選局ボタン
⑥ディスプレイ
⑦録音ボタン
⑧モード切換ボタン
⑨スキップ／サーチボタン（⏭）
⑩再生／一時停止ボタン
⑪スキップ／サーチボタン（⏮）
⑫スピーカー
⑬音量ツマミ
⑭電源／ホールドスイッチ
⑮音声出力切換ボタン
⑯電池カバー

乾電池の入れかた

1. 電池カバーの▽部を押しながら矢印の方向にスライドさせて、電池カバーを開けます。
2. 単4形乾電池3本（別売）を、⊕と⊖の向きに注意しながら、図の通り正しくセットします（コイルバネのあるほうが⊖です）。
3. 電池カバーを元通りにしっかりと閉めます。

電池残量の見方

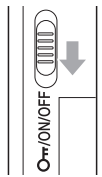
乾電池の残量はディスプレイに下図のように表示されます。少なくなったら早めに新しい乾電池と交換してください。



音声出力について

背面の音声出力切換スイッチで、イヤホンまたはスピーカーを切り換えることができます。ただしFMラジオを聴くときは、スピーカーで聴くときでもイヤホンコードを接続してください（P.7参照）。
※スピーカー出力はモノラルです。

電源のオン／オフとホールド機能



【電源オン】　電源／ホールドスイッチを下にスライドさせると、電源が入ります。

●電源が入るとディスプレイのバックライトが点灯し、「on」が表示されます。
●microSDカード非装着時は、「on」表示に続いてFMラジオを受信し、周波数が表示されます。
※microSDカードが装着されている場合は、microSDカードの情報が表示されます（ただし空のmicroSDカードの場合は表示されません☞下記「モードの切換について」参照）。
※何も操作しない時間が約15秒間続くと、バックライトは消灯します。

FMラジオの表示例

【電源オフ】　電源／ホールドスイッチを元の位置に戻すと、電源が切れます。

●ディスプレイ表示が消えます。

【ホールド機能】　電源が入っているときに、電源／ホールドスイッチをさらに下にスライドさせてから指を離すと、ホールド機能が有効になりボタン操作が無効になります。

●バッグなどにしまったとき、誤操作を防ぐのに便利です。
●ホールド機能が有効なときは、ディスプレイにホールドマークが表示されます。
●ホールド機能を解除するには、もう一度電源／ホールドスイッチを下にずらしてから指を離すか、電源を切ってください。

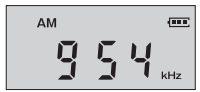
モードの切換について

M　モード切換ボタンを押すたびに、FMラジオ、AMラジオ、microSDカードの切換ができます。切り換わり方は図のようになっていますので、十分ご理解のうえ、操作してください。

microSDカード未装着の場合	FMラジオとAMラジオを交互に切り換えます。
microSDカード装着の場合	**TF→FM→AM** の順で切り換わります（下図：A）。 ※**TF REC** への切換えはモード切換ボタンを長押ししてください（下図：B）。 ※空のmicroSDカード（この機器で初めてお使いになるmicro SDカード）を装着した場合は、ラジオ受信の状態になり、モード切換ボタンを押しても「TF REC」は表示されません。その場合は、P.9 を参照して任意のラジオ放送を録音し、その後、上記の操作をしてください。

microSDカードの表示例（A）

FMラジオの表示例



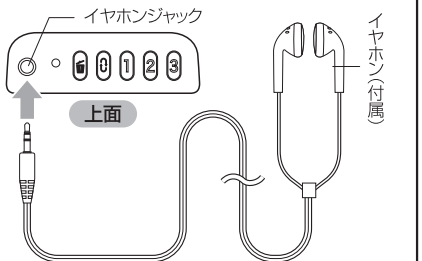
AMラジオの表示例

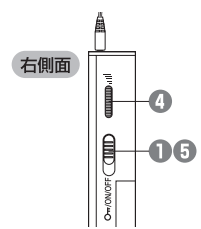
microSDカードの表示例（B）

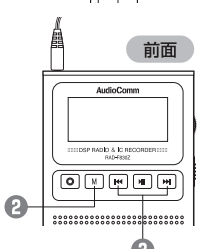
ラジオ放送を聴く

重要

FMラジオを聴くときは必ず接続してください。
イヤホンコードがFMアンテナの役割を兼ねるため、イヤホンを接続しないとFMラジオ放送を聴くことができません。必ずイヤホンジャックにイヤホン（付属）のプラグを差し込んでください。
※イヤホンプラグを抜き差しするときは、必ずプラグ部を持って丁寧に行ってください。コードを引っ張ったり、強い衝撃を加えると破損や故障の原因になりますのでご注意ください。

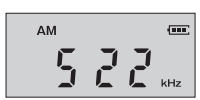






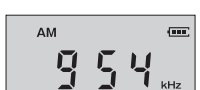
❶ 電源／ホールドスイッチをスライドさせて電源を入れる
●microSDカード非装着時はFMが、装着されているときは、「TF REC」または「TF」が表示されます。

❷ モード切換ボタンを押してAMまたはFMを選ぶ
●モード切換ボタンを押すたびにFM→AM→TF REC ／ TFと変化します。



AMラジオの表示例

❸ スキップ／サーチボタン（⏮／⏭）を押して、周波数を聴きたい放送局に合わせる
●AM放送の場合は9kHz単位で、FM放送の場合は0.1MHz単位で数字が変化します。
●長押しすると周波数が速く送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

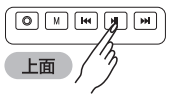


❹ 音量ツマミで音量を調節する
●音量の上げすぎにご注意ください。
●ディスプレイに音量レベル（0~32）が表示され、約2秒後に元の表示に戻ります。

❺ 終了するときは電源／ホールドスイッチを上にスライドさせて電源を切る
●ディスプレイ表示が消えます。

自動メモリー登録　※AM・FMそれぞれ最大40局まで登録できます。

本機はATS機能（オートスキャン機能）を搭載しており、お使いの地域で受信可能な放送局を一括して自動登録することができます。登録したいバンド（AMまたはFM）を選択した後、以下の操作をしてください。



❶ 自動メモリー登録を開始するには、再生／一時停止ボタンを約3秒間長押しする
●周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を「CH01」から順に登録します。
●自動メモリー登録が終わると、一番最初に登録された放送局を受信します。

メモリー登録時の表示例

❷ メモリー登録した放送局を呼び出すには、再生／一時停止ボタンを数回押して、聴きたい放送局（CH番号）を選ぶ
●CH番号は約2秒後に周波数表示になります。

ご注意
●できるだけ電波状況のよい場所で行ってください。
●自動メモリー登録を行うと、以前に登録した内容は一括して上書きされます。
●乾電池を抜いてしばらく放置し、再装着した場合は、再登録が必要になることがあります。
●お使いの地域が変わった場合は、自動メモリー登録をし直してください。

ヒント
メモリー登録した内容を削除するには
❶削除したい放送局を受信します。
❷上面の削除ボタンを約5秒間長押しします。「DEL」と周波数表示が交互に点滅します。
❸もう一度削除ボタンを押すと削除が完了します。
※削除すると登録してある放送局のCH番号が繰り上がります。
※最後に残った登録内容（CH01）は削除することができません。
※削除操作を終了するには、本機前面のいずれかのボタンを押してください。

ダイレクト選局

ダイレクト選局ボタン（1~3）によく聴く放送局を登録し、ワンプッシュで選局することができます。

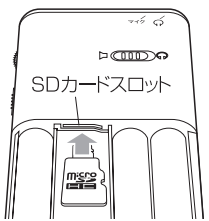
❶ ダイレクト選局を登録するには、登録したい放送局を受信している状態で、1~3のいずれかのダイレクト選局ボタンを約2秒間長押しする
●周波数表示が1回点滅したら、登録完了です。

❷ 登録した放送局を呼び出すには登録時に選んだダイレクト選局ボタンを押す

ご注意
●登録内容を変更するには、上記と同様の方法で上書きください（消去はできません）。
●乾電池を抜いてしばらく放置し、再装着した場合は、再登録が必要になることがあります。

ラジオ放送を録音する

重要 **microSDカードを着脱するときは、必ず電源を切ってください。**
電源が入ったまま着脱を行うと、機器の故障やデータの破損につながるおそれがあります。



【microSDカードの装着方法】

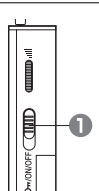
1. 電池カバーを開ける
2. SDカードスロットにmicroSDカードをカチッと音がするまで差し込む
   - ●刻印されたカードの向きの図を確認し、正しく装着してください。
   - ●装着後は電池カバーを元通りにしっかり閉めてください。

【microSDカードの取り外し方法】

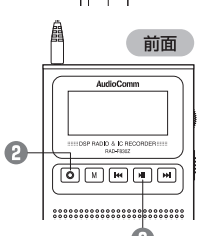
1. 電池カバーを開ける
2. microSDカードをカチッと音がするまで押し込み、その後指を離す
3. 押し出されたmicroSDカードを取り出す

ご注意
- ●録音はできるだけ電波状況の良い場所で行ってください。
- ●録音状況や放送局などにより、音声の大きさなど録音データの状態が変わります。
- ●録音する前に乾電池の残量をご確認ください。また、パソコンなどを使ってmicroSDカードの容量も確認してください。

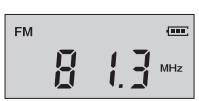
右側面



前面

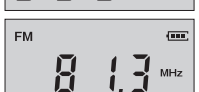


1. **電源／ホールドスイッチをスライドさせて電源を入れ、録音したいラジオ放送を受信する**
   - ●「ラジオを聴く」の項を参照して操作してください。



2. **録音ボタンを約3秒間長押しする=録音開始**
   - ●ディスプレイに「TF REC」と経過時間が表示され、録音が始まります（「REC」が点滅します）。

3. **終了するときは再生／一時停止ボタンを押す**
   - ●録音を停止します（通常に表示に戻り、引き続きラジオ放送を受信します）。



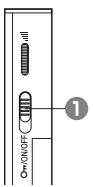
ヒント
- ●ラジオ放送を録音するとmicroSDカード内に「RECORD0」フォルダーが作成され、その中に録音ファイルが保存されます。
- ●ラジオを録音したファイル名は「RECXXXF.mp3」（XXXは001から始まる連番）となります。
- ●ファイルの再生方法はP.11を参照してください。

録音マイクを使って周囲の音声を録音する

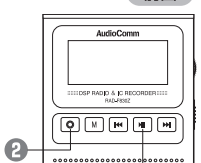
P.9を参照してmicroSDカードを正しく装着してから以下の操作をしてください。

ご注意
- ●本機の録音マイクを音源に向け、50cm以内の距離で録音してください。
- ●録音する前に乾電池の残量をご確認ください。また、パソコンなどを使ってmicroSDカードの容量も確認してください。

右側面



前面



1. **電源／ホールドスイッチをスライドさせて電源を入れる**
   - ●「TF REC」または「TF」になり、保存されているファイル数が表示されます。
   - ●ラジオ受信から切り換えて、周囲の音を録音したい場合は、モード切換ボタンを数回押して「TF REC」にしてください。

ご注意
- ●パソコンなどで保存したファイルのみが存在する場合、モード切換ボタンを押すと「TF REC」ではなく「TF」が表示されます。この場合は、そのままステップ❷に進んでください。
- ●**空のmicroSDカード（この機器で初めてお使いになるmicroSDカード）を装着した場合は、ラジオ受信の状態になり、モード切換ボタンを押しても「TF REC」は表示されません。**
  その場合は、P.9を参照して任意のラジオ放送を録音し、その後、上記の操作をしてください。

2. **録音ボタンを約3秒間長押しする**
   - ●ディスプレイの「REC」が点滅し、録音が始まります（経過時間が表示されます）。
   - ●録音時は、できるだけ録音マイクを音源に近づけてください。

上面

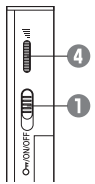
3. **終了するときは再生／一時停止ボタンを押す**
   - ●録音を停止します（ファイル番号表示に戻ります）。

ヒント
- ●録音した音声は、microSDカード内の「RECORD0」フォルダーに保存されます。
- ●音声を録音したファイル名は「RECXXXM.mp3」（XXXは001から始まる連番）となります。
- ●ファイルの再生方法はP.11を参照してください。

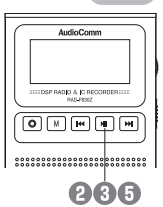
microSDカード内のファイルを再生する

P.9を参照してmicroSDカードを正しく装着してから以下の操作をしてください。

右側面



前面



1 電源／ホールドスイッチをスライドさせて電源を入れる

●microSDカードが正しく読み込まれると、「TF REC」または「TF」とファイル数が表示されます。

TF REC	microSDカード内のファイルが、本機で録音したものだけの場合。
TF	microSDカード内のファイルがパソコンなど本機以外の機器で保存したものだけの場合、または本機での録音ファイルと混在する場合（この場合、本機以外の機器で保存されたファイル数が表示されます）。

ご注意 ●microSDカード内に本機が対応していない形式のファイル（画像ファイル、テキストファイルなど）が混在していると、正しく認識・再生できない場合があります。

2 再生／一時停止ボタンを押す＝再生開始

●いちばん新しいファイルの再生が始まります。その後、停止操作などを行わなかったときは、いちばん古いファイルから順に再生していきます。

●ディスプレイに「TF」と表示されている場合、本機以外の機器で保存されたファイルが再生されます。

●「TF」表示時に本機で録音したファイルを再生したい場合は、モード切換ボタンを長押しして「TF REC」に切り換えてから、再生／一時停止ボタンを押してください。

●上記でいったん「TF REC」にすると、モード切換ボタンを長押ししても「TF」には戻りません。モード切換ボタンを数回押して、再度「TF」にしてください。

TF REC（本機で録音したファイル）の再生画面例

本機以外の機器で録音したファイルの再生画面例

3 再生を一時停止するときは、再生／一時停止ボタンを押す

●一時停止中は経過時間表示が点滅します。

●もう一度押すと、再生を再開します。

4 音量ツマミで音量を調節する

●音量の上げすぎにご注意ください。

●ディスプレイに音量レベル（0~32）が表示され、約2秒後に元の表示に戻ります。

5 終了するときは再生／一時停止ボタンを長押しする

●停止すると総ファイル数表示に戻ります。

●必要に応じて電源も切ってください。

スキップ／サーチボタン（⏮／⏭）の操作

スキップ／サーチボタン（⏮／⏭）は再生中のみ操作可能です。

ボタン	再生中に押す	再生中に長押しする
⏭	次のファイルに移動して再生	聴いているファイルを早送り
⏮	ひとつ前のファイルに戻って再生	聴いているファイルを早戻し

リピート再生

リピートボタンは再生中のみ操作可能です。

🔁	1回押す	**リピートオール**：TFまたはTF REC内のすべてのファイルを繰り返し再生
	2回押す	**シングルリピート**：聴いているファイルを繰り返し再生

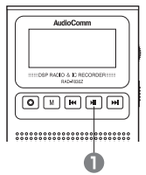
リピート再生中は、リピートマーク（🔁または🔂）が表示されます。「one」、「ALL」は約1秒間表示され、その後経過時間表示に戻ります。

ヒント ●リピート再生を解除するには、リピートマークが消えるまで、リピートボタンを2回または1回押してください。

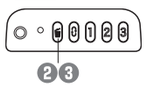
ファイルを削除する

重要
- ●本機以外の機器で保存したファイル（再生時に「TF」と表示されている場合）は、ファイルを削除することができません。本機で録音したファイル（「TF REC」）のみ削除できます。
- ●ファイルを削除すると復元することはできませんので十分ご注意ください。

前面



上面



1 削除したいファイルを再生し、一時停止状態にする
●P.11を参照して操作してください。

2 削除ボタンを約3秒間長押しした後、指を離す
●「DEL」と経過時間表示が交互に点滅します。

3 もう一度削除ボタンを短く押す
- ●ファイルが削除されます。
- ●削除後はファイル番号が繰り上がります。

ヒント
- ●任意のファイルを削除後は、「DEL」と経過時間表示が点滅し続けます。削除操作を終了するときは、本機前面のいずれかのボタンを押してください。

故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
電源が入らない	●乾電池の向きは正しいですか。 ●乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	●電源は入っていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●音声出力切換スイッチがイヤホンの位置になっていませんか。
正常に動作しない	●乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、電源を入れることができてもすぐに切れたり、ボタン操作ができなくなることがあります。新しい乾電池と交換してください。
ラジオを受信できない	●イヤホンが接続されていますか。イヤホンコードがアンテナの役割を果たすため、必ずイヤホンを接続してください。
ラジオに雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。

主な仕様

電源	DC4.5V 単4形乾電池×3本（別売）
受信周波数	AM：522～1710kHz　　FM：76.0～108.0MHz
アンテナ	AM：内蔵フェライトアンテナ　　FM：アンテナ兼用イヤホンコード
スピーカー	1W×1
イヤホン端子	φ3.5mmステレオミニプラグ
対応メディア	SDHC32GBまでのmicroSDカード（別売）
	読み取り可能なファイル／フォルダー数：最大9999ファイル/9999フォルダー（5階層まで確認済み）
	読み取り可能なファイル形式：MP3
	本機での録音ファイル形式：MP3（再生ビットレート：8～320kbps）
乾電池での連続使用時間の目安	スピーカー使用時：AM／FMラジオ　約11時間　microSDカード使用　約9時間
	イヤホン使用時：　AM／FMラジオ　約16時間　microSDカード使用　約14時間
外形寸法	幅58×高さ109×奥行18mm（突起物含まず）
質量	約66g（乾電池含まず）
付属品	ステレオイヤホン（コード長約100cm）、取扱説明書（保証書付）

※乾電池での連続使用時間の目安は、いずれもアルカリ乾電池使用・音量中位の場合の値です。乾電池の種類や使用状況によって異なります。　※本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。また本取扱説明書で使用する図版は、実際の機種と一部外観が異なっている場合があります。

お手入れのしかた

表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00 ※日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8369/8370A